

市民助け合いネット

〔第43号〕

発行

私たちの仲間

令和3年12月末現在
総数 1,121名

提供会員 379名
利用会員 742名

NPO法人
市民助け合いネット
代表 鎌倉 常雄
〒270-0123 流山市若葉台3-131
☎ 04-7153-5733

仲間通信

2022 今年も頑張ります



少し遅い新年のご挨拶になりましたが、本年も皆さまにとって幸多い年になりますよ。う心からお祈り申し上げます。よく結婚式のスピーチで、「人生には、いろいろな坂がある」と人生のたとえ話をしますが、新型コロナで「まさか」を経験させられています。「まさか」まさか、こんなに長く感染症が続くとは、一年前の今頃、ワクチン接種が行き渡れば以前の生活が取り戻せると……淡い期待を持っていましたが、見事に裏切られました。昨年末はデルタから変異したオミクロン株が世界を再びパンデミックに陥れています。

厳しい環境にあっても力を合わせ助け合い活動が続けよう!!



日本でも年末年始の人流増で感染拡大を危惧しましたが、年明けと同時に全国で感染拡大し、一月十九日にまん延防止等重点措置が再び発令されました。この二年間で私たちが営々と築き上げた社会生活の全てが一変しました。当法人が取り組んでいる高齢者・障がい者の生活支援の仕組みも根底から覆されてしまいました。

「倒見れないよ!!」正直、そんな思いが当たり前の中で高齢の方、命にかかわる治療を受けている方のために、病院の送迎をはじめ生活支援活動に快く協力いただいているサービスマン提供会員の皆さまには感謝・感激です。これは活動に従事いただいている会員のみならず、ご家族の温かい心とご理解の賜物であり、この紙面を借りて改めてお礼申し上げます。この先、ウイズコロナ、ア



- ① 弘田副代表の生活支援コーディネータ2期目委嘱式
- ② 片岡代表逝去
- ③ オンラインフェスタで会員募集
- ④ えがおのイベントをライブ配信開始
- ⑤ 移動スーパースタート式
- ⑥ 移動スーパー買い物風景



① 弘田副代表が流山市の生活支援コーディネータとして活動することになりました。弘田副代表は今回で二期目、向こう二年間の生活支援コーディネータとして活動することになりました。高年齢福祉のまちづくりの市民代表として活躍される弘田副代表を当法人挙げて支えていきます。

② 当法人の創立者で初代代表の片岡興一氏が六月十二日に逝去しました。心よりご冥福を祈ります。片岡代表が提唱した「困ったときはお互い様」の志を大切にして助け合い活動を継承して行きます。二代目代表には鎌倉常雄氏が五月の社員総会の承認を得て就任しました。

③ 流山市市民活動推進センター主催のオンラインフェスタに参加し、生活支援のボランティア会員の募集をライブ配信で行いました。「えがお」の音楽イベントをライブ配信して楽しんでもらいました。

④ 「えがお」のイベントをライブ配信しました。民間の高齢者施設からの依頼で十一月のえがおイベントとして開催した落語寄席をライブ配信しました。これからも新型コロナ禍で高齢者施設内で窮屈な生活を強いられるご高齢の皆さんにも楽しんでいただけるイベントを配信していきます。

⑤ 移動スーパーが実現しました。流山市で買い物に困りの方、買い物困難地域を対象に市と株式会社協定で移動スーパーとして販売カーが定期で巡回販売することになりました。写真は移動スーパーの市役所前スタート式。

助け合い活動を繋ぐため 活動料金を改定します

(本年四月から新料金適用)

市民助け合いネットは創立から十八年経過することができました。この間、ご支援いただいた関係各位および生活支援活動に参加いただいている提供会員の皆さま並びにふれあいの家「えがお」の運営に協力いただいているスタッフの皆さんの協力の賜物であり、改めて心より感謝申し上げます。

さて、この二年間は、新型コロナウイルス禍により生活全般が一変し、はたして元の生活を取り戻せるのかウィズコロナ、アフターコロナの生活は、どのようなになるのか？心配の種は尽きません。私たちの足元を見ますと、ボランティア会員(提供会員)の高齢化が進み、助け合い活動参加者が減少し、このままでは早晚、活動に大きな支障が生じてしまう状況にあります。そのため、本年は原点に立ち返り、ボランティア会員の大増員を目標に掲げ、会員募集キャンペーンに取り組んでいきます。

しかしながら大きな課題として昨今、世の中は社会構造変化のうねりの中で生活環境が厳しくなり、全国的にボランティア参加者が減っている現実があります。総活躍社会を目指した働き方改革、年金受給年齢の引き上げ等、自分の先行きの生活不安で手一杯。「七十才過ぎても働きたい」人

の面倒までとてどもとてども「生活のゆとり、心のゆとり」が失われつつあります。そこに今回の新型コロナウイルスが加わり、ボランティア活動への参加、特に高齢者の生活支援活動は危機的な状況にあります。当法人の継続・維持についても先が見通せない状況にあります。

そのような背景の中で、市民助け合いネットとして十八年間、据えてきた生活支援の活動料金を見直す必要に迫られています。利用会員の皆さまには、ご負担を強いることになりませんが、高齢者の生活支援活動(助け合い活動)に対して当法人はどこからも支援を受けていないこと、先に述べた社会情勢変化の中でボランティア会員を引き続き確保することや助け合い活動を継続させることなどから苦渋の決断をするに至りました。

何卒、当法人の抱えている窮状をご賢察賜り、私たちの活動が皆さまの尊厳のある生活を支援するための活動であること、ご理解賜りたく、よろしくお願いいたします。

料金改定を本年四月から実施すること検討を進めております。詳細が決まりましたら会員の皆さまにお知らせいたします。

福祉有償運送サービスのお知らせ

◆行き先変更は勝手にしないようにお願いします。

車による送迎依頼は、市民助け合いネットの事務所で受付けていますが最近、事務所に依頼した行き先を変更したり、行き先の追加を直接、ドライバーに指示している利用者を見かけます。

福祉有償運送は事前に行き先を確定し、事務所から登録ドライバーに送迎を依頼するルールなっていますので送迎中に利用者が勝手に行き先変更することはルール違反になります。行き先変更は事前に事務所を通じていただけない場合、次回から送迎をお断りすることになりますので、ルール厳守をお願いします。

なお、送迎の経路の途中でコンビニなどへの用足しによる立ち寄りには対応します。

役に立つセミナーのご案内

ハイブリッド型シンポジウム
熟年世代に贈る「これぞ、終活！」

令和4年 3月5日(土) 13:30~15:30

初石公民館 及び サテライト会場

第一部 基調講演

佐藤裕紀弁護士



- ・相続・成年後見で骨肉の争いを避けるためには？
- ・弁護士に依頼するときはどんなとき？

第二部 パネルディスカッション

市内高齢者支援団体他

モデレーター

楠山栄子(流山高齢者安心ネット)

パネリスト(順不同)

- 市民助け合いネット
- シルバー人材センター
- 東葛市民後見人の会
- 流山高齢者安心ネット
- 北部高齢者なんでも相談室
- 老人クラブ連合会
- 成年後見推進センター

- 鎌倉 常雄
- 池内 弘行
- 丹澤 泰夫
- 上平 慶一
- 石川 渉
- 石幡 恒美
- 桃井 厚史

テーマ

これだけは
知ってほしい！
我々の取り組み

- ・申し込み&参加費:事前申し込み 300円
 - ・申し込み方法 :助け合い事務所で受け付けます。
 - ・サテライト会場 :南流山センター、ふれあいの家“えがお”他最寄りの会場で視聴できます。
- ※お申し込みの際にご案内します。



事務所からのお知らせ

利用者さんへ

助け合いの依頼は必ず事務所を通してお願いします。
会員同士の依頼は、会として責任を負いかねます。
また、依頼は早め(3~4日前)をお願いします。

提供者さんへ

★利用券の精算は活動後、出来るだけ早くお願いします。
★時節柄、事務所内はマスク、消毒、3密対策にご協力ください。



寅年 豆知識(主な出来事)

- 1962 アメリカ初の有人宇宙飛行
- 1974 小野田少尉が日本に帰国
- オイルショック・買占め
- 1986 英国・ダイアナ妃が来日
- ハーレー彗星大接近
- 1998 長野オリンピック開催
- 映画「タイタニック」ブーム
- 2010 惑星探査機「はやぶさ」が帰還
- 2022 新型コロナ感染症、終息なるか？
- 北京冬季オリンピック開催なるか？